

# 大学院夏季入試説明会・ドイツ文学専門分野受験希望者の皆さんへ

## 入試科目

一次試験（筆記）

1) 外国語

日本人受験者：英語、フランス語、ロシア語、イタリア語、スペイン語のうち1科目

外国人受験者：上記に加え日本語、計2科目

2) 専門科目

ドイツ語学・ドイツ文学に関する基本的な知識、読解力、論述力、表現力の試験

二次試験（口述）

一次試験合格者に対して個別に行います

## 最近数年間の（受験者数と）合格者数

過去5年間の修士入試

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
出願者数	4	8	8	7	8
合格者数	2	5	5	3	5

## アドミッション・ポリシー

ドイツ語、ドイツ文学に深い関心を持ち、専門的な読解と表現の能力を培い、国際的な水準を意識した研究を遂行し、同時に日本の学問言語と文芸言語への寄与を志す人材を求めます。

## 教員紹介

2020年度授業担当教員

教授

大宮勘一郎

宮田 眞治

准教授

山本 潤

KEPPLER-TASAKI, Stefan

非常勤講師

足立 信彦（東京大学総合文化研究科）

田中 慎（慶應義塾大学文学部）

福間 俱子（明治大学文学部）

### 修士修了者の就職状況の説明

教職、製造業、金融、公務員など

### 修士論文に求める水準、内容

作品、一次テキストは必ず原典を自分で読み、研究にとって基本的な先行研究などの二次文献、資料も広く渉猟し、そのうえで独自の視点を加え、説得的な議論を構築すること。

### 最近提出された修士論文

2018 年度

- ・フケーにおける<近代>について — 『ロサウラとその一族』を中心に —
- ・ブレヒトとギリシャ悲劇 『アンティゴネー』 改作における脱悲劇の試みについて
- ・ペーペルコルンの人物像と時代性 — トーマス・マン『魔の山』におけるペーペルコルン挿話の読解と考察 —
- ・ヘルマン・ヘッセ『荒野の狼』における「ツアラトウストラ」的なもの
- ・Musicality and “Communication” in the Poetic Ritual of Stefan George’s Early Works

2017 年度

- ・『子どもと家庭のためのメルヒェン集』 — その改訂過程と内容から明らかになるグリム兄弟の編纂の理念 —
- ・アンナ・ゼーガース „Der Kopflohn“ における「あきらめる者」と「揺れる者」の形象
- ・「父」に抗して書く フランツ・カフカ『判決』をめぐって
- ・Erbaulicher Pikarismus. Zum Verhältnis satirischer und frommer Elemente in Grimms Hausens „Simplicissimus Teutsch“

2016 年度

- ・身体にのこされた曖昧な領域 — H. v. ホーフマンスタールの暗闇 —
- ・沈黙と読書 — トーマス・マンの亡命時代 1933-36
- ・証言・類推・ヘテロトピア ゼーバルトの『移民たち』と『アウステルリッツ』をめぐって

2015 年度

- ・トーマス・マンにおけるイロニーと感情のアナーキー

- ・「決断」からの脱出 — 初期ベンヤミンの一モチーフについて
- ・毒と短剣 — レッシング『ミス・サラ・サンプソン』におけるサラの死について —
- ・方法としての「拡散」 — S・クラカウアーにおけるその射程 —

#### 最近の研究室による研究公開活動（講演会、シンポジウム、コロキウムなど）

##### 講演会

2019年

Kim Ihmku（ソウル国立大学教授）：

Seinsbewegung in Literatur und Malerei

Eine vergleichende Betrachtung zu Rilke, Klimt und Yong-un Hann

（文学と絵画における存在の運動：リルケ、クリムト、韓龍雲）

2018年

Prof. Steffen Höhne（ヴァイマル音楽大学教授）：

Kulturstädte in Habsburg – Czernowitz, Prag, Triest

（ハプスブルク帝国の文化都市 — チェルノヴィッツ、プラハ、トリエステ）

Prof. Hans-Gerd Koch（ヴッパータール大学教授）：

Geister und Gespenster in den Texten Franz Kafkas

（フランツ・カフカのテキストにおける亡霊と幽霊）

##### 国際コロキウム

2019年

Autorschaft und Autorkonzept（作者性と作者コンセプト）